

道徳科学習指導案

指導者

場所 1年2組教室

1.日時 令和7年10月10日(金) 11:40~12:25

2.学年・組 1年2組(29名)

3.主題名 しんせつに すると【B 親切、思いやり】

教材名 「はしの うえの おおかみ」

4.主題設定の理由

○ねらいとする道徳的価値について

「親切、思いやり」は低学年においては身近にいる人に温かい心で接し、親切にすることとされている。学校生活は、学校の人々や友達との関わりあいの中で成り立っている。自分勝手な行動をしていては、望ましい人間関係を構築することはできない。相手のことを思いやって温かい気持ちで接したときには、相手も嬉しくなり、お互いに温かい気持ちになる。親切にすることによって自分も相手も得られる喜びについて学び、それを理解しようとする中で、相手のことを思いやり優しく接しようとする心情を育てたい。

○児童観

本学級の児童は新しいことに興味をもって活動することができる。授業では意欲的に発言する児童も多く、自分の伝えたいことを言葉にすることができている。一方で、道徳の授業でワークシートに自分の考えを書く際には手が止まってしまう児童もいる。

また学校生活では、学習等で困っている友達にやさしく声をかける場面もみられるが、自己中心的な行動をとってしまう児童がいるのも現状である。自分のしたいことを主張し、友達の気持ちを十分に考えることなく行動してしまうこともある。

○教材観

本教材は、一本橋で出会った動物たちに面白がって意地悪を続けていたおおかみが、くまに親切にされたことによって改心し、やさしい心で動物たちに接するようになるものである。親切にしてくれたくまの後ろ姿をいつまでも見送っている時のおおかみの気持ちを考えたり、意地悪をした時は自分ひとりがいい気持ちだ

ったのに対し、親切にしたときは相手も自分もいい気持ちになっていると知ったりすることを通して、身近な人を思いやって親切にすることのよさに気付かせるのに適した教材である。

5.指導の工夫

①言葉選びの工夫

児童の実態から、「親切」という言葉を「やさしい」と言い換えて学習を進める。

②役割演技

おおかみの気持ちを想像させやすくするために、役割演技を行う。

③板書の工夫

物語の流れや考えたことが視覚的に分かりやすくなるように、イラストや表情図を用いる。

④ワークシートの工夫

授業の流れを分かりやすくするために、板書と同じ構成にする。

⑤書く活動の工夫

自分の考えを文章に表しやすくするために、ペア交流と全体での共有を行った後に書く活動を行う。

6.ねらい

くまに親切にしてもらった時のおおかみの気持ちの変化とその後の行動の変化の理由を考えることを通して、意地悪をしたときよりも、親切にした時のほうがずっといい気持ちになることに気づき、身近な人を思いやって親切にしようとする心情を育てる。

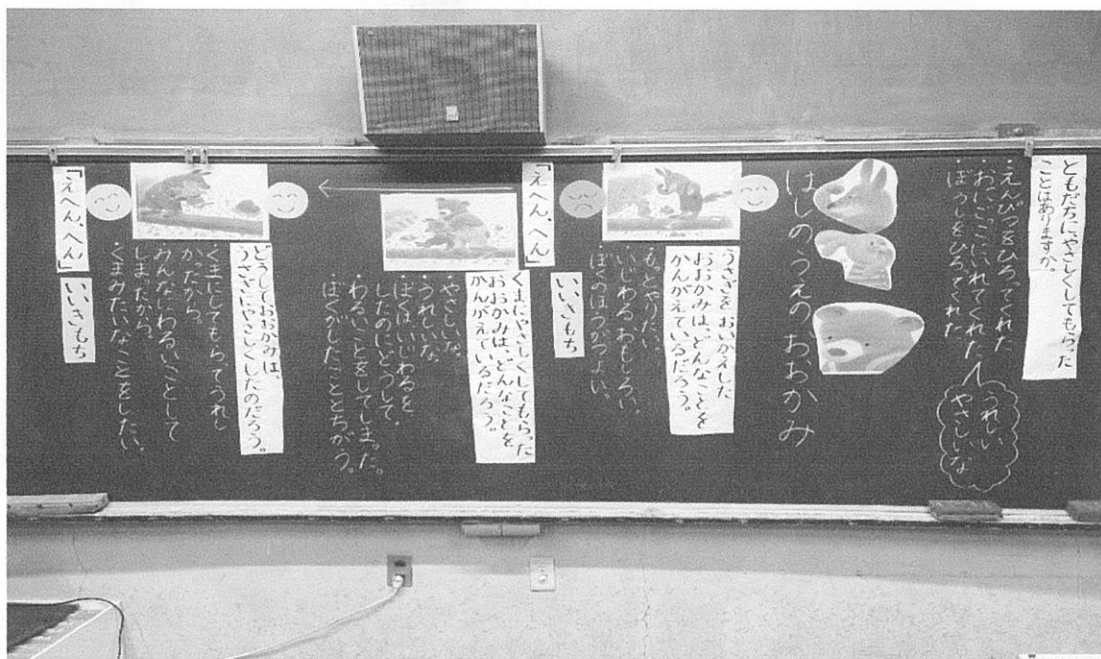
7.本時の展開

	学習活動と内容	教師の支援と準備物
導入 (5分)	<p>1.自分の経験を振り返る。</p> <p>友達に、やさしくしてもらったことはありますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ちていた帽子を拾ってくれた。 ・勉強を教えてくれた。 ・一緒に遊ぼうと言ってくれた。 <p>どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしくなった。 ・やさしいな。 	<p>教師が見た、児童のやさしい行動を例にあげて話し、日常生活の中でやさしくしてもらった経験を思い出しやすくする。</p>

<p>展開</p> <p>(5分)</p>	<p>2.教材「はしのうえのおおかみ」を読んで、やさしくすることについての考えを広げる。</p> <p>(1)教材を読み、場面の状況を把握する。</p>	<p>教材を読む前に、おおかみ、うさぎ、くまが登場するとイラストを用いながら伝え、興味を持たせるような声掛けをする。</p> <p>場面の状況を表すイラストと、ポイントとなるセリフを示して内容を把握させる。</p>
<p>(20分)</p>	<p>(2)おおかみの気持ちを考える。</p> <p>うさぎを追い返したおおかみはどんなことを考えているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじわるたのしい。 ・ぼくのほうがつよい。 ・もっとやりたい。 <p>◎くまにやさしくしてもらったおおかみはどんなことを考えているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うれしいな。 ・ぼくがしたことと違う。 ・なんで意地悪してしまったのだろう。 ・うさぎに意地悪しなければ良かった。 <p>ペアで意見交流を行ったあと、全体で共有し、ワークシートに自分の意見を書く。</p> <p>どうしておおかみは、うさぎにやさしくしたのだろう。</p>	<p>意地悪がおもしろくなるおおかみの気持ちを想像させるために、役割演技を行う。</p> <p>児童には、おおかみの気持ちを考えながら見るように伝えておく。 (おおかみ:児童、うさぎ:教師)</p> <p>おおかみの気持ちの表情図と、うさぎの気持ちの表情図を見せる。</p> <p>おおかみの気持ちを想像させるために、役割演技を行う。</p> <p>児童には、おおかみの気持ちを考えながら見るように伝えておく。 (おおかみ:児童、くま:教師)</p> <p>自分の意見をいきなり書くことが難しい児童のために、ペア交流と全体での共有を行い、友達の見解を参考に考えられるようにする。</p>

<p>(8分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・くまがしてくれてうれしかったから。 ・くまを見習った。 <p>(3)おおかみがうさぎに意地悪をした場面と、やさしくした場面を比べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おおかみのニコニコは一緒なのかな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒だと思う。 ・違うと思う。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>やさしいニコニコと、いじわるなニコニコ →一人だけニコニコと、二人ともニコニコ</p> </div> <p>(4)活動1の板書に戻り、やさしくされた人はもちろんうれしいが、やさしくした人もうれしくなることを確認する。</p>	<p>おおかみの気持ちの表情図と、うさぎの気持ちの表情図を見せる。</p> <p>どうして？と理由を言える人に尋ねて、児童の考えを引き出す。</p>
<p>終末 (7分)</p>	<p>3.振り返りとして、自己のこれからの行動についての考えを深める。</p>	<p>休み時間・給食の時間・授業などの場面を示し、具体的に考えさせる。</p>

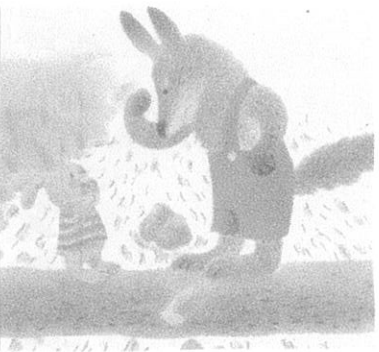
8.板書計画



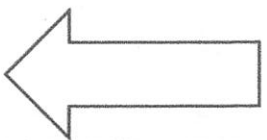
はしのうえのおおかみ

なまえ			
	くみ		ばん

○おおかみのきもちをかんがえよう。



「えへん、へん」



「えへん、へん」

○ふりかえり